

令和7年度 事業報告

令和7年度は、世界的には戦争の継続や紛争の悪化、関税の自国優先の動きなど、世界秩序が不安定であり、日本においては、デフレ経済からの脱却に向け、賃上げの動きや広がりが進みました。しかし、米価格やエネルギー価格等の高騰による影響、社会保障問題がクローズアップされるなど少子高齢化社会の影響も改めて実感される1年でした。そのような情勢下、本シルバー人材センターでは令和6年度の労働者保護の観点から施行されましたフリーランス法の施行を受け、令和7年度から個人請負契約と一部の民間請負契約において、包括的契約に変更する取り組みを府下では他市に先駆けて実施してまいりました。これにより、請負事業契約件数のうち包括的契約が占める率は83.6%となりました。安全就業に対する取組みとして進めています健康診断書の提出率は89.3%で、前年度より4.9%上回るなど安全や健康への意識が高まりつつあります。また、カスタマーハラスメントの対策方針の制定を行い、会員並びに事務局職員が尊厳を持ち安心して働ける職場環境を整えたところです。

一方で、令和7年度の年度末の会員数は811名（男性538名、女性273名）となり前年度と比べ15名の減少となりました。新規入会者は97名、退会者は112名でした。各部会による会員勧誘の取組み、11月からはWeb入会説明会の開始、秋のバスツアーによる会員勧奨など、新しい取組みを積極的に展開しましたが、労働者不足などの社会的要因や、会員の高齢化による退会などにより、減少傾向が続く状況になっています。

契約実績では、請負部門331,810,623円（前年度比5.9%減）、派遣部門127,368,063円（前年度比3.6%減）で、全体では25,499,504円の減（前年度比5.3%減）となり、前年度を下回りました。また、月間平均就業実人員は、請負部門480名、派遣部門111名、全体では591名となり、就業率*は69.8%（前年度比1.5%減）で、こちらも昨年度を下回ることとなりました。

*各月の実就業会員数の平均値と会員数の平均値に対する割合

以下、令和7年度の事業概要について報告します。

1. 就業開拓提供事業の実施

就業機会の拡大に向け、以下の事業を実施しました。

（契約件数：請負1,898件・派遣：148件）

- ① 就業機会開拓推進員による、80歳からでも働ける職域等、新規事業所の開拓を行いました。**（訪問企業数 11事業所）**
- ② 毎月「就業情報」を発行し、未就業会員に対して就業機会の提供を行いました。**（397号～408号）**
- ③ ワークシェアリング、ローテーション就業を推進しました。
- ④ 請負・委任事業、包括的契約に係る事業、職業紹介事業、労働者派遣事業など多様な就業形態を提案し、発注者の求める業務ニーズに応えることができるように努めました。
- ⑤ 介護保険制度適用外の日常生活におけるサポート事業の取組みを強化しました。

- ⑥ 会員に就業ニーズに応えるよう多彩な就業先を提示し、ミスマッチの減少や就業先の選択肢の幅を広げました。

2. 普及啓発事業の実施

センターの活動内容や事業趣旨等を幅広く理解していただき、会員の拡大に繋げるため、以下の事業を実施しました。

- ①リーフレット、パンフレット、会報「シルバー羽曳野」、ホームページ、SNS、市広報紙等あらゆる媒体を活用し、普及啓発活動に努めました。
- ②10月のシルバー会員普及啓発促進月間において、普及活動イベントの開催や区長宅訪問を行いチラシ配布協力のPR活動を実施しました。
- ③友人や近所の方に入会を呼びかける「1会員1紹介運動」に取り組みました。
- ④会報「シルバー羽曳野」を市内公共施設16か所に配架し、PRに努めました。
(年2回発行、市内公共施設16か所に配置)
- ⑤市内の高齢者を対象に無料の講習、講座、公演等イベントを実施しPRをしました。また、バスツアー企画による入会PRを実施しました。
- ⑥入会案内を回覧板や広報板に掲示、チラシ配布、ポスター掲示を行うなど、会員拡大に努めました。(訪問件数：回覧板310件・広報板248件)
- ⑦市主催のボランティア活動に参加しPRを行いました。
(石川クリーン作戦：参加者163人)
- ⑧陵南の森のクラブ活動において、シルバー事業紹介及び会員勧誘を行いました。
(16クラブ・130人)
- ⑨Web入会説明会を開始し、入会しやすい体制を整えました。(加入者：12人)

3. 独自事業の実施

多様な就業機会提供の取り組みの一環として、以下のセンター独自事業を実施しました。

- ①自転車リサイクル事業
- ②腐葉土製造・販売事業
(販売実績：腐葉土200 1,264本・腐葉土100 23本)
- ③シルバー農園事業
- ④貸農園事業
(ビニールハウス1棟1人 23区画10人)

4. 研修・講習会事業の実施

センターの利用を促進し事業拡大に繋げるためには、会員の技能や知識の向上を図り発注者の満足度を高める必要があるため、研修や講習会を実施しました。

5. 調査研究事業について

事業の拡充や円滑な運営を図るため、必要に応じ調査研究を行いました。

6. 相談事業について

未就業を理由とした退会を抑制するため、以下の取り組みを進めました。

- ① 毎月2回未就業者相談を実施し、就業機会の提供に努めました。
(年24回・62人相談)
- ② 女性会員の職域拡大のため、女性就業拡大推進員による女性のつどいの開催や

就業相談等を実施しました。(1回開催・63人参加)

7. 安全・適正就業推進事業について

就業中や就業途上の事故予防及び安全就業に対する意識の向上を推進するため、以下の取り組みを実施しました。

- ①会員自ら自身の健康管理に積極的に取り組んでいただくよう、健康に関する啓発を行いました。
- ②就業途上の事故防止に対する取り組みを進めました。
- ③就業中の事故防止に対する取り組みとして、就業器具の自主点検や安全保護具の着用促進など、安全就業に対する自覚を促しました。
- ④安全標語を募り、「事務局だより」に掲載し安全就業を呼びかけました。

(7人29首応募、12首選考)

- ⑤安全委員会を定期的に開催し、安全対策について検討しました。
- ⑥就業会員に対して、「安全就業ハンドブック」の携帯を呼びかけました。
- ⑦安全パトロールを実施し、安全就業を呼びかけました。
- ⑧安全就業に対する自覚を促すため安全講習を実施しました。(19人参加)

8. 職業紹介事業について

法に基づく有料職業紹介事業を行い、臨時的・短期的な就職を斡旋しました。

9. 労働者派遣事業について

- ①適正就業の推進等必要に応じ、臨時的・短期的な労働者派遣事業を実施しました。
- ②就業機会の拡大を図るため、労働者派遣事業に取り組みました。

(派遣事業における入職時講習30人、キャリアアップ講習40人)

10. 自主運営体制の充実及び就業体制の強化について

- ①担当部会を開催し、各部門の事業について検討しました。
- ②全部会会議を開催し、部会間の情報連携を図り効率的な活動を行いました。
- ③近隣センターとの連携や調整を図り、広域的な就業機会の開拓・情報収集に努めました。
- ④会員の自主・自立的な就業及び、接遇・マナー・人権・ハラスメント研修を実施し、質の向上を目指しました。
- ⑤全シ協・近シ協・大シ協・中部シ協の各協議会と連絡調整を行い、各研修会等に参加し相互研鑽に努めました。
- ⑥他のシルバー人材センターにおける先進的な取り組みの情報を得る等し、事業の拡充に努めました。

※参考資料

- ①令和7年度請負事業実績状況(別表1参照)
- ②令和7年度一般労働者派遣事業実績状況(別表2参照)
- ③年度別契約金額、会員数、就業実人員の推移(別表3参照)
- ④令和7年度年齢別・性別・就業希望職群別会員の状況(別表4参照)